

東京2020オリンピック パラリンピック競技大会



ベリーズ国と事前キャンプ基本合意書を締結

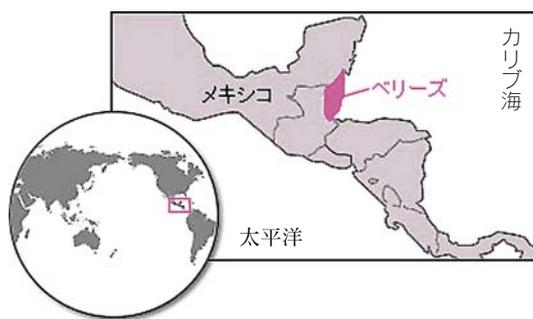


▲世界第2位のバリア・リーフ

マヤ文明の遺跡▶



▲締結式
(左から、畔蒜毅さん、稲葉名誉総領事、佐藤町長)



1月31日、中米のベリーズ国との事前キャンプ受け入れに関する基本合意書の締結式が行われました。

平成28年6月にベリーズ国の稲葉名誉総領事が日本ベリーズ友好協会理事で横芝光町民の畔蒜毅さんの紹介で当町を訪れたことをきっかけに、ホストタウン登録を見込んで準備を進めてきました。事前キャンプでは、選手や関係者の宿泊施設や、ふれあい坂田池公園陸上競技場などを練習場として提供するほか、選手が競技に専念できるように応援していきます。

また、国へホストタウン登録申請も行いましたので、ベリーズ国の応援をしながら東京2020大会を楽しみ、友好関係を築いていきます。

ベリーズってどんな国？

ベリーズ国は、中央アメリカの東海岸に位置し、北はメキシコ(ユカタン半島)と、西と南はグアテマラに接し、東はカリブ海に面した四国ほどの大きさで、多様な人種と宗教が混在する人口約36万人の国です。

1981年にイギリスから独立したアメリカ大陸で一番新しい国で、マヤ文明を歴史に持つ自然豊かな神秘の国です。

- 言語** 英語(公用語)、スペイン語、ベリーズ・クレオール語、モパン語等
- 国花** ブラック・オーキッド
- 国鳥** トウカン
- 国木** マホガニー
- 経済** 主要産業は農林水産業で、砂糖、オレンジ、グレープフルーツ、ロブスター、マホガニーなどが主にアメリカ、イギリスに向けて輸出されています。